

1. 本園の教育目標

太いねっこ・かがやくひとみ

- ・心も身体もすこやかな子ども
- ・前向きで、楽しく、力強く生きていける子ども
- ・やさしい気持ちの子ども

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した

学校評価の具体的な目標や計画

めざす子ども像 ～友達と一緒に楽しいな～

一人ひとりが幼稚園で安心して過ごし、友達とかかわって遊ぶ。

努力目標 ～子どもが主体的に関わり遊ぶための環境を考える～

《努力目標をテーマに園内研修を行い、めざす子ども像を達成する。》

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
(1) 長期的に見通しをもった保育をすすめる。	A	努力目標達成に向け、見通しをもって保育をすすめることができた。子どもの実態に合わせて内容を考えることで、主体的に活動する子どもが増えた。
(2) 評価・反省にもとづいた指導計画を立案する。	B	行事は昨年の反省を活かし計画することができた。週案など日々の保育をしっかりと評価・反省し、保育をすすめていきたい。
(3) 円滑な幼小の接続	B	幼稚園で研究保育を行ったり、小学校の研究授業に参加したりする中で、幼小の違いやつながりを考える機会となったが、保育に活かすことが少なかった。

4. 評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	園内研修を中心に、子ども達が主体的に遊ぶための環境設定や保育の進め方について考え、保育に活かすことができた。また、一人ひとりの子どもを丁寧に理解し、職員が連携して援助することができた。しかし日々の保育内容やねらいなどの振り返りを丁寧に行うことが十分にはできなかった。

※3、4の評価結果の表示方法

A 十分達成されている

B 達成されている

C 取り組まれているが、成果が十分でない

D 取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的取組方法
新幼稚園教育要領に基づいた指導計画の立案	30年度の評価・反省を活かしながら、新幼稚園教育要領に基づいた指導計画を作成し、見通しをもって保育をすすめていく。
個々の幼児の評価や課題に応じた保育	職員間で一人ひとりの子どもの育ちや課題について話し合い、支援の方法を考え、適切な援助を行う。
円滑な幼小の接続	小学校教育との円滑な接続を図るため、積極的に小学校の研究授業に参加し、教師自身が小学校の学びや生活を理解し、保育に活かしていく。